

学校図書館で働いています

～採用形態と業務の実状を見る～

シリーズその6「栃木の学校図書館を見る」で、県内各市町に学校図書館で働く人がいるか、いないかを数字的にあげてみました。それを見た方たちから「確かに数字的にはうちの町(市)には、学校図書館で働いている人がいる事になっているのだが……」と言うつぶやきがあちこちから聞こえました。数字的に見ただけでは分からない実状を調べてみました。

いと答えた市町で働いている方々個々にアンケートに答えていただきました。

戻ったアンケートの内容を見て、数字的には学校図書館で働いている人がいるといっても、その内実は実に千差万別である事に驚きました。それはひとえに採用する側の、学校図書館に対する考え方の違いに帰すると思います。現場で働いている方々の悲鳴が聞こえてくるようなアンケートの結果でした。

大まかにまとめると次のような問題点が、アンケートから浮

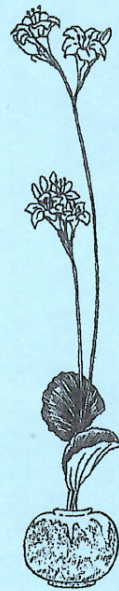
きぼりになりました。

- ・ 臨時職が多く身分が保証されない。仕事に打ち込めない。
- ・ 働く時間が短すぎる。
- ・ おのおのが孤立している、横の連絡がない。
- ・ 研修する機会がない。
- ・ 学校内での立場が不安定。

しかし、それでも人がいない図書館よりいた方がいい。人がいてくれる事によって、子ども達が喜び、先生方にとって役に立つ学校図書館に生まれ変わっているはずです。

容認しがたいような採用形態の市町もあるようですが、働く人にとっても利用する子どもたちにとってもこれ以上のマイナス条件が広がらないよう、そして、図書館に人がいない学校が一枚でも少なくなるよう、厳しい現実の中でも住民と行政に理解を求めたい。子どもの豊かな成長を育む読書環境のために学校図書館の充実を望みます。

発行日 平成二十年十月
発行者 栃木子どもの本連絡会
「学校図書館を考える」プロジェクト



アンケートから

別表では表記し切れなかった、アンケートの中から生の声を
取り上げます。

- ・ 他市町では、学校図書館に専任の司書がいるところがまだ少ないらしく、他市町の学校図書館との連絡会や研修会がないのが残念です。(県央)
- ・ 学校図書館の運営は基本的に一人で担当しているので、自分のやり方でいいのか不安になる事がある。(県央)
- ・ 同じ仕事をしている仲間との研修の機会がない。横の繋がりが持てないのが残念。(県南)
- ・ 図書事務だけで採用されていないため、図書に従事する時間が足りない。他の市町では図書館職員がいないところが多い。どんな形であれ、子どもたちの豊かな心の育成の補助役として置くべきではないかと思う。(県南)
- ・ 仕事はいくらでもあり、アイディアも沢山湧く。しかし資格や専門的知識も軽視され、たった週八時間で思うように出来ない。何を求められ、何を目指しているのか分からない。また校内での立場も弱くやりにくい面もある。(県北)
- ・ 図書室に関わる時間が少ない。毎日一時間くらいです。中学校の生徒は図書室を利用していない。(県南)
- ・ 学校により公立図書館との関係に差がある。(県北)
- ・ 市内の学校に各一人配置になると良いと思う。(県北)
- ・ 朝読の時間が位置づけられ、不読者の数は減ったと思われる。しかし、図書室を利用する生徒に関しては、限られた生徒で

あることを否めない。より多くの生徒の利用を促す努力・工夫が課題。(県北)

- ・ 図書と事務補助を兼務しているので、時期によっては両立できない時がある。臨職なので、図書業務の経験が全くなく、図書館だよりや、ディスプレイ等の作成に苦勞した。研修や他校との交流があつたら参加したい。(県南)
- ・ 町の小中学校間で統一性がなく、情報交換もしていないので、そういう場が欲しい。臨時職なので最大でも二年の期間しか働けないため、引継ぎや新規の方の勉強会や説明等があるといい。(県南)
- ・ 二年目に入り、ようやく日々の仕事に慣れて来た。最初の頃は全ての事が分からず苦勞した。早めに同じ仲間との連絡会や研修会を町で開いて欲しい。(県南)
- ・ 名ばかりの司書教諭を置く事で、図書館が充実していると行政は言うが、司書の専門性を考えた時、代用できるものではないと思う。単年度の雇用では、限界を感じる。(県央)
- ・ 三校勤務ということで、対応し得ない事がいろいろある。(週四日のうち三校を一日ずつローテーション)一校あたり月五日の勤務で、曜日も定まっていないので、学校側からしても使いづらいと思う。ボランティアさんとの連携という点からも、曜日が決まっていたほうが仕事がやりやすいと思う。(県央)

学校図書館司書で働いています

～採用形態と業務の実状を見る～

市町村名	職名	2. 採用形態			採用時の資格	給料	3. 勤務形態			4. 学校図書館司書の研修の有無	5. 市内の同業者とのつながり	6. 働く上での問題点	
		A 正規	B 非正規	C 雇用契約			D 再任可能年数	E 週何日	F 勤務時間				G その他
宇都宮市	学校図書館司書業務補助員	○		1年	3年?	司書または司書教諭	月172,000円 賞与なし 交通費なし	5	8時～3時	授業の関係でスライパすることがある	有	研修時に有り 個人的にも有る	・司書教諭は、業務なので名ばかり ・単年度雇用では出来ることに限界有り
鹿沼市	学校図書館支援員	○		1年	3年	司書または司書教諭が望ましい	時給740円 交通費あり	4+月1 研修日	6時間 45分休憩	8:10～14:55開始時間には学校で異なる3校を1日ずつ1校当たり月5日	配属前に1日6時間の研修	月1日、分類・修理の講習、指導主事講習、他校見学等	・3校勤務なので対応できないことが色々ある ・曜日も不定なので、学校・ボランティアとの連携が取りにくい
芳賀町	司書	○		1年	5年	司書	月151,000円 ～171,000円 賞与・交通費あり	5	8時～5時		・学校の了解があれば、参加可能	・司書助手と情報館司書等で月2～4回図書館会議をしている	
都賀町	無回答												
壬生町	無回答												
下野市	学校生活支援員(図書)	○		1年	不確か	なし(旧南河内町の時は司書)	1日8000円	おおよそ2	8時間 8時～5時	年間88日	無	無(有志で自主研修、年2・3回)	・勤務日数が少なくて出来る仕事に限られてしまう
大平町	学校事務補助員	○		2年	2年	なし	時給830×6 200時間以内	5	約5時間		無でよい と思ふ	無	無
大平町	学校事務補助員	○		2年	2年	なし	時給830×6 200時間以内	4～5	約4～5時間		無	無	・最初は全てのごみ分からず苦労したので 激しい
大平町	学校事務補助員	○		2年	2年	なし	時給830×6 200時間以内	5	勤務時間内 3時間程度	学校行事によって 大きく変わる	無	無	・事務との面立が難しい ・有れば参加したい
大平町	学校事務補助員	○		2年	2年	なし	時給830×6 200時間以内	5	約3時間		無	無	
大平町	学校事務補助員	○		2年	2年	なし	時給830×6 200時間以内	5	約3時間		無	無	
大平町	学校事務補助員	○		2年	2年	なし	時給830×6 200時間以内	5	約1～2時間		無 (希望有)	無	・町に統一性がない ・有ると良いと思う

市町村名	職名	2. 採用形態			3. 勤務形態			4. 学校図書館百書研修の有無	5. 市内の同業者とのつながり	6. 働く上での問題点			
		A 正規	B 非正規	C 雇用契約	D 再任可能年数	E 採用時の資格	F 給料				G 週何日	H 勤務時間	I その他
野木町	補助事務員		○	1年	5年	なし	時給720×5	5	昼休み	図書委員と一緒に貸出業務をする	図書館協議会研修1回	年1～2回町内の事務員研修が	・図書館に係われる時間が少ない (毎日1時間位)
野木町	補助事務員 (嘱託員)		○	1年	5年	なし	時給700×5	5	昼休みと 清掃時間	図書委員と一緒に貸出業務をする	町内研修 会研修1回	年1～2回町内の事務員研修が	・図書室を使って欲しい ・楽読の本を借りて欲しい
藤岡町	学校図書事務		○	半年	不明	なし	日給6400円 交通費なし	5	8時間	半年で5日有給有り	町内研修	年に数回	・たくさん研修を受けたい
岩舟町	学校事務職員		○	1年	5年	なし	時給810円 交通費あり	5	5:45分	1校1人	年1回	学校図書館協議会	
栃木市	主査		○	—	—	市職員	—	5	8:00～16:45		有	年5回	・他の仕事もあり図書に従事する時間が 足りない
矢板市	図書事務		○	2	3	なし	時給770	5	5時間		無	去年有・今年無	
さくら市	臨時事務補助員		○	1年	不明	なし	日給6500円	5	8:10～16:55	勤務時間後半のみ 図書関係にあてる	有	月1回図書業務研修	・分類記号の説明 本の配置
塩谷町	図書事務		○	1年	不明	なし	時給900円	5	8時～16時 1時間休憩	他の学校業務も 行っている	無	無	・研修会があるといい。 ・図書館のことを質問できる人がいない
高根沢町	学校司書補		○	1年	1年のみ	なし	1日4時間勤務 半日3,395円	5	12:30～16:30 半日勤務	小学校2校掛け持ち	無	無	・児童の本ばなれの傾向が感じられる
那須塩原市	図書及び 生活支援員		○	半年(形式) 1年(実質)	特に 決まっていない	なし	時給730円	2	4時間	長期休業中は 非雇用	半日研修 年2回	無	・週8時間で思うように出来ない ・何を求められているのか?
那須烏山市	主査		○	—	—	問わない	市条例	5	8時間	図書館業務4時間	有	年2回情報交換	・学校ごとに各1名配置になると良い
那須烏山市	係長		○	—	—	問わない	市条例	5	8時間	2校併任	有	年1回講演会	・学校により公立図書館との関係に差がある
那須川町	司書		○	—	—	司書資格あり	給与規程 に順ずる 時給990×5 交通費なし	5	8時間	給食準備や給食費 会計事務など含む	有(年3回)	年3回の研修 会にて交流	・朝読はするが図書館利用を促す工夫が課題
佐野市	図書事務		○	1年	不明	問わない	時給990×5 交通費なし	5	5時間	2校勤務有り	無	無	

この調査は、シリーズ6で学校図書館に司書がいることになっていた市町村の現場の方にお訊きました。